

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	特別支援学級に通う子の保護者である。説明では触れられなかったが、今後の特別支援学級のあり方をお伺いしたい。	特別支援学級について説明がなかった点についてお詫び申し上げます。特別支援学級は、統合後も現在の学級編成の基準である8人1クラスでの設置を予定している。環境の変化に敏感な子が多いため、十分な配慮をしていきたい。
2	小学校の再編において小学校区を分割しない、また旧市町の区域を跨がないという基準を設けている。旧大和町地区の小学校については、町内での再編で問題ないと思うが、旧柳川市と旧三橋町の一部の小学校については、子どもたちの通学負担を考えれば、旧市町を跨ぐ再編もやむを得ないのではないかと。今後も少子化が予測されることから、柔軟な対応を希望する。	確かに旧柳川市と旧三橋町の一部では、校区の形状が入り組んでいる部分があり、お住まいの地域によっては、他の校区の学校が近いという状況があることは把握している。再編にあたり、既存の小学校区を分割しない、旧市町を跨がないという基準を設けたのは、小学校の活動は地域の様々な団体に支えられて成り立っていることや小学校区のエリアを基準に、公民館等の地域コミュニティが形成されていることが理由として挙げられる。また現状、公民館や行政区の活動が、旧市町のまとまりで動いている背景を考慮して今回の計画を策定している。ご理解をお願いしたい。
	みやま市の桜舞館小学校は、旧高田町の2校の小学校と旧山川町2校の小学校が旧町の枠を超えて統合されている。生徒数の減少という課題を解決するために、やむを得ず4校が統合したものと思われる。ぜひ改めて協議を行っていただくよう希望する。	現在はあくまで案の説明を行っている段階で、説明会でいただいた意見は全て持ち帰り検討し、パブリックコメント前に最終案を公表する予定としている。ご意見はありがたく受け止めさせていただく。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
2 つづき	<p>旧大和町地区では、(仮称)大和小や大和中と三橋中との統合中学校の開校が予定されている。それに伴い、国道208号線を通る子どもが多く出てくると思う。現大和中の正門付近やシギヤマ家具周辺などは広い歩道が整備されており、現在も引き続き整備が進められていることは承知しているが、未だ不十分な部分がある。歩道の整備には拡幅のための用地買収や電柱等の移設、場合によっては移転補償など多大な費用がかかると思われる。再編の2、3年前から協議会を設置し、通学の安全対策について検討することのだが、開校に間に合うのか？また、今後の歩道整備予定についてご存知であれば教えていただきたい。</p> <p>国道なので、今後も警察署や国および県の関係機関と協議を行い、進捗を図っていただくよう期待する。</p>	<p>通学路の環境整備については、学校再編に関わらず非常に重要な問題だと考えている。国道208号線については、現在も工事が進捗中であり、例えば豊原校区においては用地買収の交渉中である。これについては時間が必要であるが、教育委員会からも整備について要望していきたい。また、再編協議会(仮称)で、個別箇所の整備について要望が出ることもあるかと思うが、協議会ではあくまで開校までに決めなくてはならない事項を協議する予定である。道路整備については、教育委員会だけでは解決できない課題のため、警察や道路管理者に働きかけていきたい。</p>